

JICA 海外協力隊の出発前表敬

自身の知識や経験をラオス、フィジー、モンゴルへ

JICA 海外協力隊として岡山県内の 3 名の方が 1 月下旬から 2 月にかけて派遣されます。1 月 17 日に岡山県庁を表敬訪問するほか、以下の日程で出身地の市長を表敬訪問します。

取材・報道および個別インタビューをぜひ、ご検討ください。

《岡山県より出発するボランティア／2023 年度 3 次隊》

氏名（漢字）	氏名（カナ）	出身	派遣国	職種
富田健太	トミタ ケンタ	岡山市	ラオス	コミュニティ開発
赤田慎太郎	アカダ シンタロウ	津山市	フィジー	病院運営管理
高橋和成	タカハシ カズナリ	浅口市	モンゴル	理科教育

《表敬訪問日程》

表敬先	日時・場所	表敬者
上坊勝則・岡山県副知事	1/17(水) 10:00～10:20	全員
栗山康彦・浅口市長	1/17(水) 13:00～13:30	高橋和成
谷口圭三・津山市長	1/19(金) 11:50～12:20	赤田慎太郎
大森雅夫・岡山市長	1/19(金) 15:30～15:45	富田健太

《志望動機・抱負》

富田健太さん：

留学先や NPO での活動中、フィリピンでは物乞いをする少年少女、マレーシアの地方ではトイレやお湯などの環境的側面の問題、インフラの整備、労働環境などの問題を知りました。ラオスでコミュニティ開発を通じて、それらの**地域的、社会的問題**に対して協力隊のボランティア目線から改善していきたいです。

赤田慎太郎さん：

日本とインドの病院で働き、**先進国と発展途上国の医療格差**を感じました。これまでに得た知識と技術を活かし、配属先のシンガトカ病院の質改善チームのファシリテーター等と協働し、日本の 5S 活動を利用して、病院の実施体制構築と持続性が確保できる活動を行おうと思います。

高橋和成さん：

教員退職後に、**社会との何らかのつながりを志向したとき、自分の知識や経験を生かせないかと考えました**。そのとき、理科教育支援の要請があることを知り、40 年近い理科教育の現場経験や教材開発、生態学の専門的な研究を活かして頑張ってみようと思い参加しました。

【 本 件 連 絡 先 】

JICA 中国 市民参加協力課 担当：田辺 塗木
TEL：082-421-6305 FAX：082-420-8082
E-mail：jicacic-jocv@jica.go.jp

地球から世界へ、世界から地球へ
元氣をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

